

伊賀市議会行政視察報告書

委員会名	広報広聴委員会
出席委員名	山下典子、内原篤、浅川友和、大石亮子、陶山美佐、寺村京子、森中秀哲
欠席委員名	なし
視察日時	令和8年5月14日（木）午後1時～3時
視察先	三重県いなべ市議会
視察事項	議会広報広聴活動について
説明者	いなべ市議会正副議長、広聴広報委員会副委員長（広聴・広報） 議会事務局職員

視察事項の概要

いなべ市議会では、「市民に期待され信頼される議会を目指し、議会改革や広聴広報活動に力を入れて取り組んでいる。

視察では、議会行動計画や議会改革の考え方、市民との意見交換の仕組み、SNSを活用した情報発信、市民参加の仕組みなどについて説明を受けた。

特に、「市民にどう伝えるか」「市民の声をどう聴くか」を大切にした議会づくりが行われており、議会だより、ホームページ、SNS（Instagram・Facebook等）を活用した情報発信を積極的に行っている。

また、「みんなの声カフェ」や「市民モニター制度」、「親子議会体験」など、市民が議会へ関わる議会づくりにも力を入れている。

さらに、市民から寄せられた意見については、議会運営委員会や各委員会で話し合いながら、議会活動へ反映していく仕組みが整えられており、「意見を聴くだけで終わらせない」議会運営が進められている。

いなべ市議会では、【①市民の声を聴くこと ②議会活動を市民へ伝えること ③議会として政策提案を行うこと ④市民へ説明責任を果たすこと】を大切にしながらか議会全体でよりよい議会づくりに取り組んでいるとのことが印象的だった。特に、市民からの意見を議会活動へ反映する仕組みや、分かりやすい情報発信にも力を入れている。

また、一般質問や委員会活動を通じて課題について話し合いながら、継続して話し合っていく仕組みづくりにも取り組んでいる。

さらに、市役所周辺には「にぎわいの森」が整備されており、自然の中で市民が

交流し、くつろげる空間づくりが整備されている。地域全体でまちを盛り上げていこうとする姿勢も大変参考になった。

所 見 等

今回の行政視察を通じ、いなべ市議会は「市民に開かれた議会」を強く意識し、議会改革に積極的に取り組んでいることを実感しました。

特に印象に残ったのは、「市民へどう情報を伝えるか」だけでなく、「市民の声をどのように議会へ反映していくか」という点に力を入れていたことです。

「市民モニター制度」や「みんなの声カフェ」、「意見箱」など、市民が議会へ意見を届けやすい仕組みづくりを進められており、寄せられた意見を議員同士で共有し、今後の議会活動へ活かそうとする姿勢に感心しました。

また、SNSやホームページ等を活用した情報発信にも力を入れており、「議会を市民に知ってもらおう」という意識の高さを感じました。

伊賀市議会においても、今後は議会活動をより分かりやすく市民へ伝えるとともに、市民の方からご意見をいただく機会を増やしていくことがとても重要であると感じました。

また、議会活動だけでなく、地域全体で人が集い交流できる環境づくりにも力を入れられていました。中でも、「にぎわいの森」は、市民が自然の中でくつろぎながら交流できる空間となっており、市民と行政、地域が一体となってまちを盛り上げている素晴らしい取り組みであると感じました。

今回の視察で学んだ内容を参考にしながら、伊賀市議会においても、市民に身近で信頼される議会となるよう、今後の議会活動に役立てていきたいです。